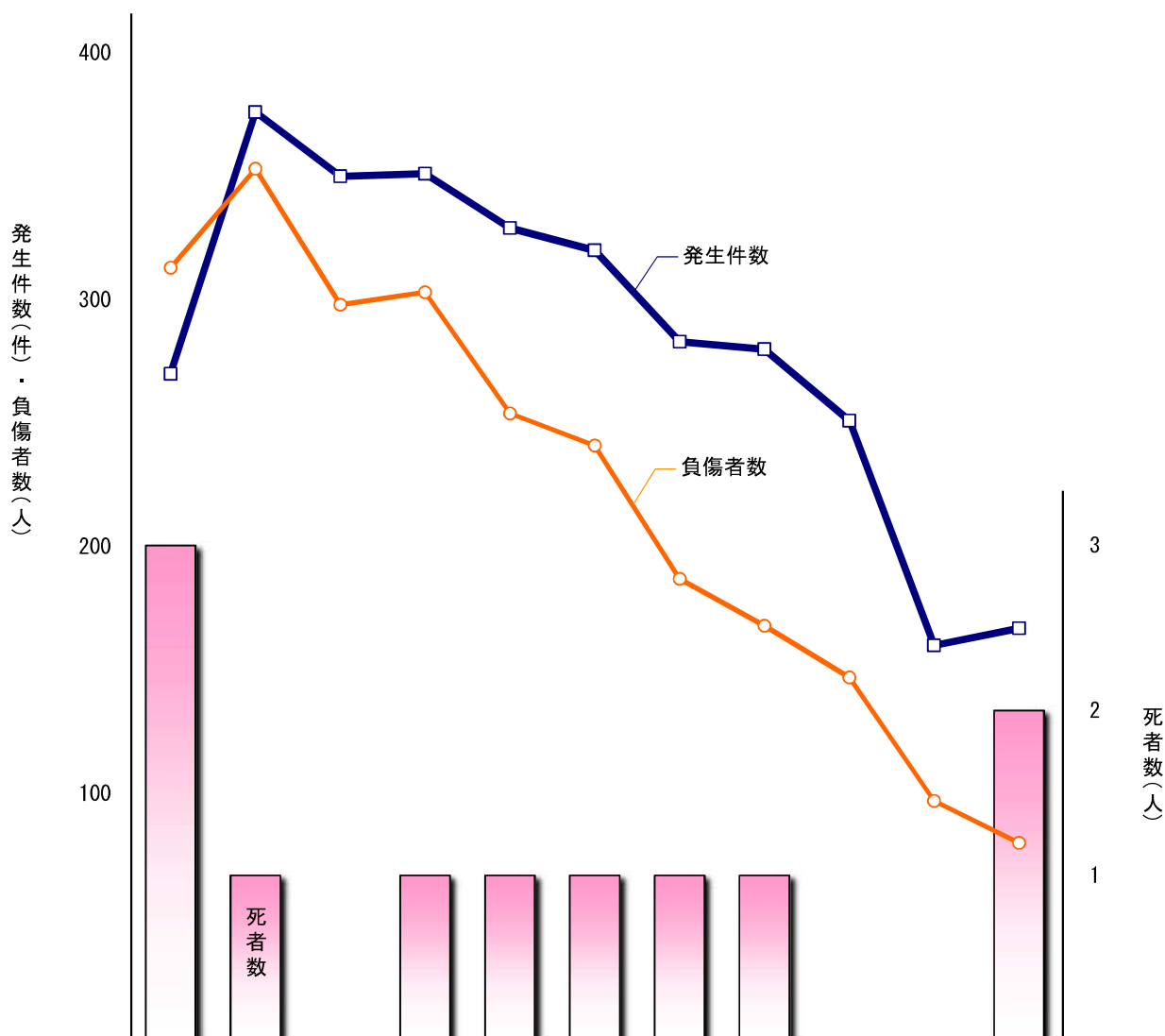


# 第5 幼児が関係した交通事故

## 1 推移(平成23年～令和3年)

負傷者数は減少しており、令和3年は統計資料の残る昭和42年以降で最少となりました。  
過去10年間の死者数では、平成23年の3人が最も多く、令和3年は2人(四輪車同乗、歩行者)でした。



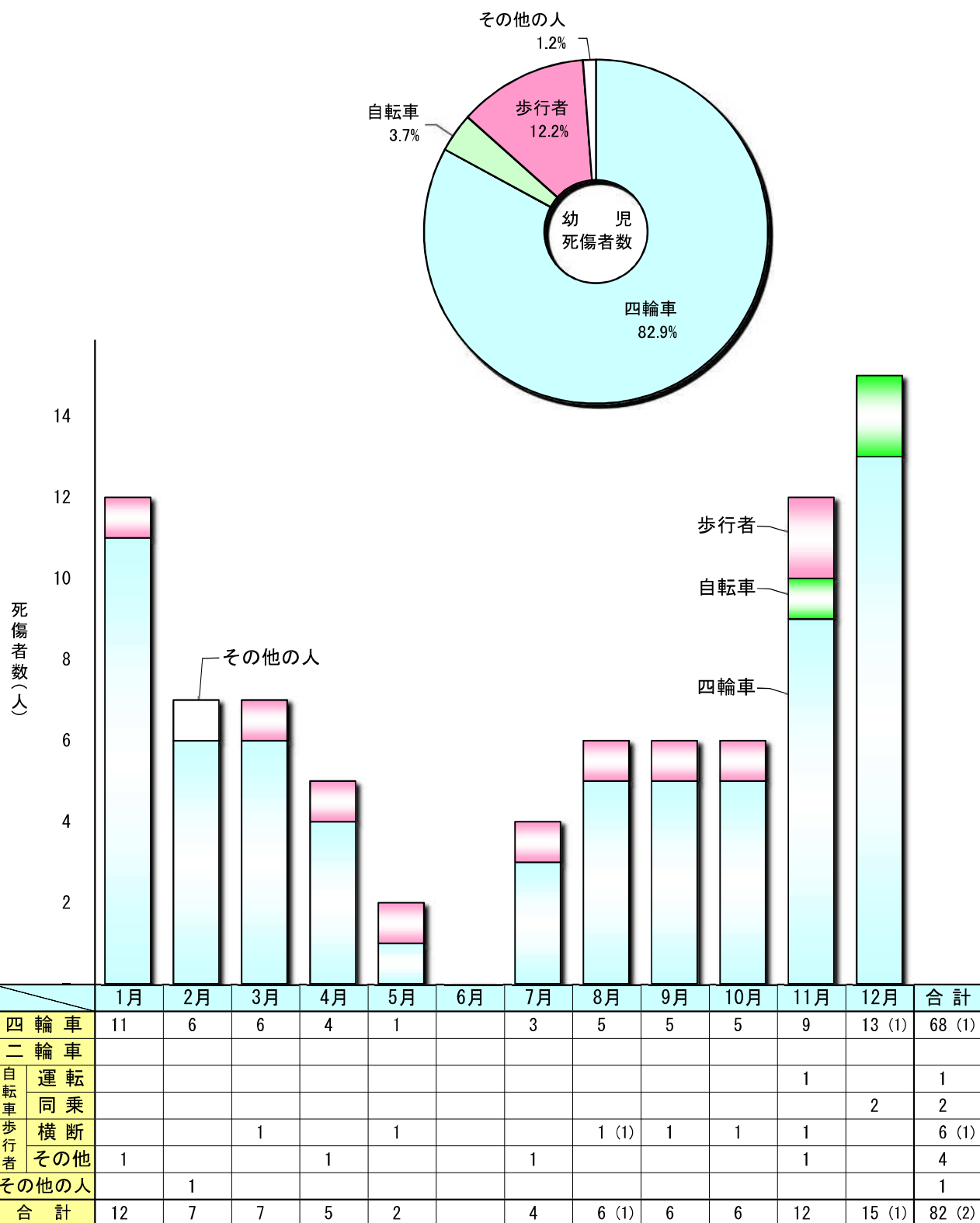
	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
発生件数	270	376	350	351	329	320	283	280	251	160	167
構成率	1.8	2.6	2.6	2.8	2.8	3.1	2.9	3.2	3.4	2.6	2.8
死者数	3	1		1	1	1	1	1			2
構成率	1.8	0.7		0.8	0.7	0.7	0.7	0.8			2.5
負傷者数	313	353	298	303	254	241	187	168	147	97	80
構成率	1.6	1.8	1.7	1.8	1.7	1.8	1.5	1.5	1.6	1.3	1.1

※1 「幼児」とは、小学校入学前の未就学児をいう。  
 ※2 「発生件数」は、幼児が当事者(同乗者等を含む。)となった件数で、「死(負傷)者数」は、幼児の死(負傷)者数をいう。  
 ※3 「構成率」は、全交通事故(発生件数、死者数、負傷者数)に占める割合とした。

## 2 死傷者数

### (1) 月・状態別

状態別では「四輪車(同乗)」(82.9%)、月別では「12月」が最も多くなっています。  
 月別状態別では四輪車は「12月」、歩行者は「11月」が最も多くなっています。



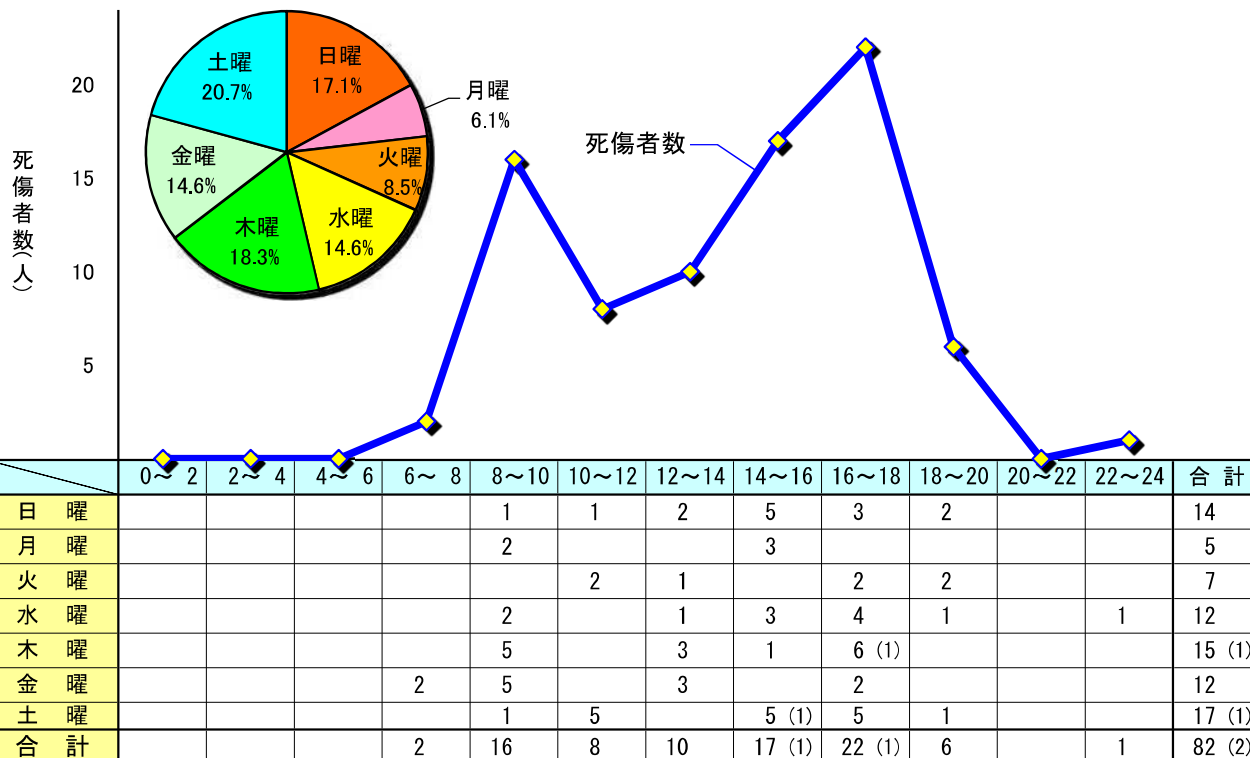
※1「四輪車」はすべて同乗中である。

2 ( )内は死者数で内数である。

3「その他の人」とは、家屋内等建物や物件内にいた者等をいう。

(2) 時間・曜日別

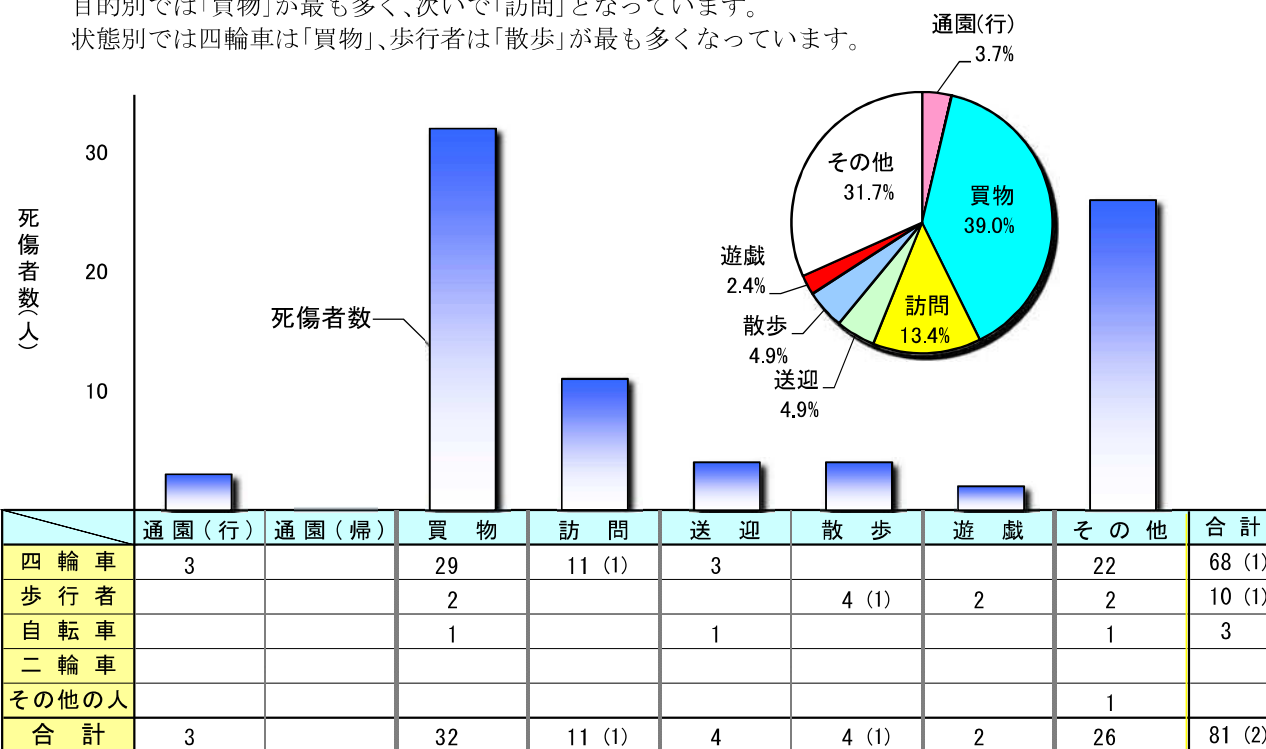
時間別では「16～18時」、曜日別では「土曜日」が最も多くなっています。  
 時間別曜日別では、「16～18時の木曜日」が最も多くなっています。



※ ( )内は死者数で内数。以下同じ。

(3) 状態・目的別

目的別では「買物」が最も多く、次いで「訪問」となっています。  
 状態別では四輪車は「買物」、歩行者は「散歩」が最も多くなっています。



※1 目的のうち、保護者等と共に行動している場合は、保護者等の目的に準ずる場合がある。

2 「その他の人」とは、家屋内等建物や物件内にいた者等をいう。

3 「観光娯楽」にはスポーツ等を含む。

(4) 原因別(自転車・歩行者)

ア 自転車

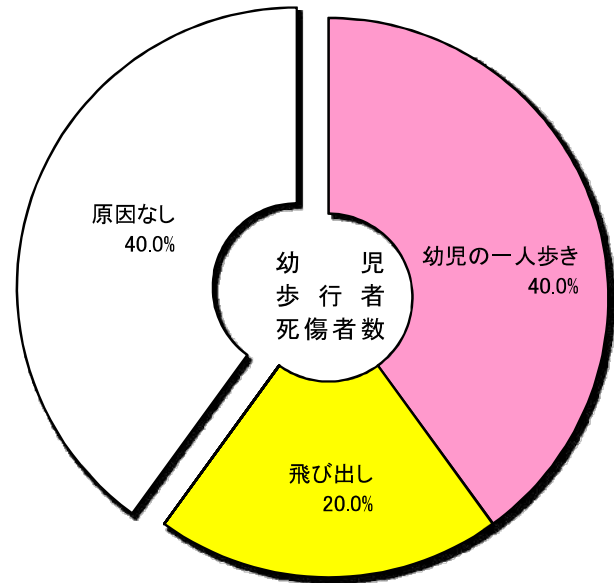
「一時不停止」が1人、「原因なし」(同乗者)が2人でした。

イ 歩行者

「幼児の一人歩き」が最も多くなっています。

		死傷者数
幼児の一人歩き		4 (1)
飛び出し		2
直前後 横断	駐停車	
	走行車	
横断歩道外横断		
その他の違反		
原因なし		4
合計		10 (1)

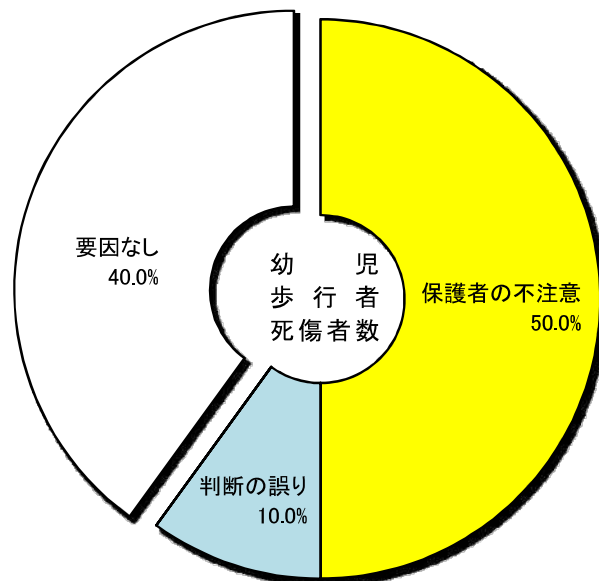
※ ( )内は死者数で内数。以下同じ。



(5) 要因別(歩行者)

「保護者の不注意」が最も多くなっています。

		死傷者数
保護者の不注意		5 (1)
発見の遅れ		
判断の誤り		1
その他の要因		
調査不能		
要因なし		4
合計		10 (1)



※1 「保護者の不注意」には、手をつないでいない、一人で外出させた等を含みます。  
 2 「発見の遅れ」には、遊びに夢中、安全確認をしなかった等を含みます。